



社会福祉法人 福角会

いつきの里だより

発行：障害者支援施設 いつきの里

松山市福角町甲1829番地

Tel 089-978-1166

Fax 089-978-1411

http://www.hukuzumikai.com

E-mail: itsuki@poem.ocn.ne.jp



おでん横丁

1月18日、おでんを昼食に取り入れました。おでん横丁と名をつけ、飾りつけは奏班の利用者さんに手伝ってもらい、おでん屋さんに来たような雰囲気の中、楽しんで食事をする事ができました。メニューは、炊き込みご飯・おでん・和え物・にゅう麺・まんじゅうでした。特におでんは、たまご・ちくわ・厚揚げなど6種類あり、とても美味しそうで、皆さん心も体もポカポカになられたの

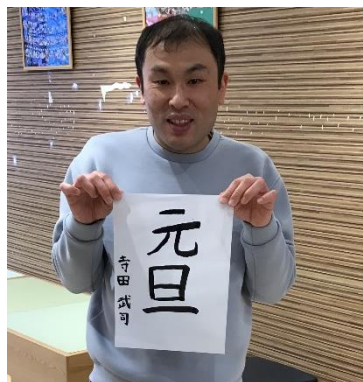


か、上着を脱いで、ニコニコと歩かれる様子も見られました。皆さんとても美味しそうに食べられており、笑顔をたくさん見る事が出来、私自身もお腹いっぱいになりました。(松岡)



書き初め

新しい年を迎え、日中活動の1つとして、1月18日に書き初めを行いました。支援員が書き初めの道具を準備していると皆、楽しみにされていたようで、多くの方が近くまで来られて準備の様子を待たれていました。書き初めの言葉は支援員が事前に準備していたものや、思い思いに考えられたものを書かれていました。お一人で元旦を連想される言葉



や今年の目標を書かれた方、支援員と一緒に好きな食べ物を書かれた方、中には思い思いに筆を書き進める方もいらっしゃいました。皆さんが嬉しそうに筆を走らせている様子を見て、私自身も楽しく活動に参加させて頂くことができました。



完成した作品は生活介護棟の階段や活動班の壁面に掲示させて頂いています。作品を見ると、これからも利用者さんお一人おひとりの「想い」と丁寧に向き合っていきたいと思いました。今年も皆さんと良い一年が過ごせるよう邁進してまいります。(宮内)



四国地区知的障害関係職員研修会

1月10～11日、「つなげる」～四国のみんなで紡ぐ私たちの未来～というテーマのもと、研修会に参加致しました。一日目はグループディスカッションを主に行いました。始めは個々に自己紹介を行い、施設での様子を写真にて、紹介し合いました。話の中では、利用者さんの使わなくなった衣服を切って、貼り絵の作品にした写真を見せて頂き、とても感動しました。私たちは日々、支援で一杯いっぱいになる事もありますが、利用者さんに喜んで頂く事、その為の創意工夫は大切だと感じました。研修の中では、第37番札所藤井山五智院岩本寺住職である窪博正氏が「縁について」という題目で講義をして下さりました。最も心に残った事は「四無量心」、我々が持つ四つの心「慈悲喜捨」、慈（他人を慈しみ、樂を与える心）、非（他人の苦を救済する心）喜（他人に樂があることを妬まず共に喜ぶ心）、捨（ひいきしたり恨んだりする心を捨て、平等に利益する心）です。支援を行う上で、私たち自身が美しい心を持つことで、利用者さんと関係性を気付く為に、とても重要なことだなと感じることができました。今後の関わりの中で、相手の気持ちを常に感じ取り、ゆったり生活ができるように支援していきたいと思えます。今回の研修でたくさんの支援者、様々な立場の方々とお会いしお話を聞かせて頂き、利用者さんに対する愛情を感じさせて頂きました。そのことで自身の励みにもなり勇気も頂きましたので、今後の仕事に活かしていきたいと思えました。（山崎）



法人研修「コーチング」

1月16日に、伊予銀経済研究センターの友近昭彦氏によるコーチング研修を受けさせていただきました。この研修はコミュニケーションにポイントを置き、同僚間の関係性についてお互いが感じているズレを解消し、お互いを理解していく方法を学びました。ケーススタディに基づき、伝達の仕方を考えながら相手に気付きを与える事が出来るのか、問題解決に向けて何からどう質問するのか。これがなかなか難しく、普段から自身が苦手としている所でした。実例として、38年ぶりに優勝を掴み取った阪神タイガースの岡田監督が上げられ、コーチングをどう活用して選手を育成しているのか、話題になった「アレ」はなぜ「優勝」と表現せず「アレ」と表現したのかなども分かりやすく教えて頂きました。聞けば聞く程、考えさせられる事ばかりで、岡田監督の「選手それぞれの個性に合わせて言葉の選び方や接し方を変えなアカン。反骨心を利用した方がいいやつもおるし、逆もまた然り。指導者の側も人間的な引出しを増やさないといけないというのはあるわな。」とコーチングの難しさを大切に感じながら、「選手」の部分「周りの人」に置き換えて、相手の事を考え、相手の事をもっと知り、それぞれにあった接し方をする事から始めたいと思えました。しっかりコーチングスキルを身につけ、よりよいチームとなれるよう頑張っていきたいと思えます。（西原）



編集後記

今年は暖冬と言われていますが、まだまだ寒い日が続いています。皆さま元気にお過ごしでしょうか？能登半島での地震から早2か月が過ぎましたが、被害に遭われた方々の不安はまだまだ取り切れないことと思えます。愛媛からはニュースでの報道でしか現地の様子を伺う事は出来ませんが、少しでも早い復旧を願うとともにボランティア活動等を通して私たちに今出来る事を考えて、皆さんが前向きな気持ちで乗り越えて行けるように少しでも協力していきたいと思えました。今年度もあと少しになりました。春は出会いと別れの時期ですが、今までの思い出を振り返りながら、来年度に向けて自分なりに目標を立てていきたいと思えます。花粉も飛び始める時期ですので、体調等には十分お気を付け下さいね！！また私自身も手洗い、うがい、消毒の徹底を行い、元気に来年度を迎えたいと思えます。（新野）

